

「地理総合」の実施状況等に関する実態調査へのご協力のお願い

全国の高校等の地理歴史・公民科授業担当者 各位

2022 年度から実施されている高校等の教育課程における必履修科目「地理総合」は設置 4 年目に入りました。この間、多くの実践が積み重ねられるとともに、昨年度後半には大学入学共通テストなどの大学入学試験で「地理総合」「地理探究」の問題が出題されました。さらに、昨年 12 月からは次期学習指導要領改訂の動きも始まっています。

この時期を捉え、（公社）日本地理学会地理教育専門委員会では、「地理総合」の一層の充実と次期学習指導要領改訂に向けた基礎的な資料を得ることを目的として、「地理総合」の授業の実態や実施に伴う課題などを把握するためのアンケートの実施を計画しました。

全国の高校等の地理歴史・公民科授業担当者で「地理総合」を担当された経験のある皆様には、上記の趣旨をご理解いただき、教科指導や進路指導などでご多忙を極めている中で恐縮ですが、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。また、ご所属の各都道府県地理教育研究団体、地理歴史・公民科教育研究団体などを通じて、ぜひ多くの方にご協力いただけるよう呼びかけていただければ幸いです。

アンケートのご回答は、6 月末日までに下記 URL からよろしくお願ひいたします。ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、個人のお名前や所属先などの情報が公表されることはありません。

調査結果等については、本委員会 HP に掲載するほか、学会での発表や会誌への掲載などによる公表を予定しています。

2025 年 5 月 30 日

公益社団法人日本地理学会
地理教育専門委員会
委員長 秋本 弘章

回答 URL :

QR コード

※問合せ先 URL : hakimoto@dokkyo.ac.jp (日本地理学会地理教育専門委員会 秋本)

※本アンケートは、 I. 地理歴史科の教育課程、 II. 「地理総合」担当者と使用教科書など、 III. 「地理総合」授業の状況や課題など、 IV. 「地理総合」全般の課題やその解決に向けた取組 の4つのセクションがあります。おおよその回答時間は5~10分程度です。回答へのご協力をよろしくお願ひいたします。

なお、同一の所属校から複数の方にご回答頂いても差し支えありません。

〔回答者の属性〕

* メールアドレス :

* 回答者のお名前 :

* 回答者のご所属校（所属校に複数の学科や生徒の進路希望別に特化したコースがある場合は、主に授業を担当する学科・コース名までご記入ください） :

* 勤務状況 : 在職中 既に転任／退職

* 高校等の教員としての勤務年数（非常勤講師等を含む） :

5年未満 5~9年 10~19年 20年以上

* 主な専門 :

主に地理 主に歴史 主に公民

* 「地理総合」の担当経験 :

「地理総合」を担当中または担当の経験がある 「地理総合」の担当経験はない

* 2021年に本委員会が実施した「『地理総合』における喫緊の課題等に関する調査」にご協力いただきましたか？

はい いいえ 分からない

〔所属の属性〕

* 所属校の所在地（都道府県・市町村名） :

* 所属校の設置形態 国立 公立 私立

* 所属校の規模

1~3学級／学年（年次） 4~6学級／同 7学級以上／同

* 所属校の地理歴史・公民科の構成教員の内訳 :

0人 1人 2人~4人 5人以上

地理が専門

歴史が専門

公民が専門

* 所属校（学科・コース）の状況（卒業生の進路）：

- 半数以上の卒業生が4年制大学に進学
- 半数以上の卒業生が4年制大学・短期大学・専門学校に進学
- 進学する卒業生と就職する卒業生がほぼ同じ割合
- 半数以上の卒業生が就職

I. 地理歴史科の教育課程

主に2024年度教育課程（昨年度・教育課程完成年度）における「地理総合」「地理探究」の設置状況についてお尋ねします。

※所属校全体または回答者が最も多く授業を担当している学科・コースでお答えください。

1. 2024年度地理歴史・公民科の教育課程について該当するものをお選びください。

- 学科、コース等を問わず、必履修科目を含む履修科目や履修学年などは同じである。
- 複数の学科があり、学科によって必履修科目を含む履修科目や履修学年などが異なる。
- 同一学科でも、入学段階で進路目標などに応じてコース・クラス分け等があり、必履修科目を含む履修科目や履修学年などが異なる。
- 同一学科でも、主に2学年（年次）以降に、進路希望に応じてクラス・コース分け等があり、選択科目の履修や履修学年が異なる。

2-1. お答えいただく地理歴史・公民科の教育課程などは次のいずれですか？学科・コースを選択した場合は、次の設問に学科・コース名もお答えください。

所属校全体 学科・コース

※学科・コースの名称をお答えください。

2-2. 地歴・公民科科目の設置や履修学年（年次）はどうなっていますか？

※複数の学年（年次）にまたがって分割履修する場合は該当する学年（年次）をすべてお答えください。

1学年（年次） (後期課程4年生)	2学年（年次） (後期課程5年生)	3学年（年次）以上 (後期課程6年生)	不設置
----------------------	----------------------	------------------------	-----

地理総合

地理探究

歴史総合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
日本史探究	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
世界史探究	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
公共	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
政治・経済	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
倫理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地歴・公民科の 学校設定科目	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2-3. 「地理探究」の詳細な設置状況についてはどうなっていますか？

文系 理系 その他 不設置

1年生（年次）

（後期課程4年生）

2年生（年次）

（後期課程5年生）

3年生（年次）

（後期課程6年生）以上

2-4.（該当する方のみ）上記2-3で「地理探究」不設置とした理由を教えてください。

（複数回答可）

生徒の進路希望や大学入試の出題科目との対応を考えたため。

地理に対する興味・関心を持つ生徒が少ないと予測できたため。

専門的な内容を教えられる担当者がいないため。

教室などの施設やPCなどの設備が対応できない。

その他：

3. 2025年度（今年度）の地理歴史・公民科の教育課程は、設置科目や履修学年（年次）などの見直しを行いましたか？

行っていない 行った 来年度以降行う予定がある 分からない

★上記3の設問で、見直しを「行った」または「予定がある」と回答した方にお尋ねします。

4. 見直しの内容について該当するものをお答えください。※複数回答可

「地理総合」などの必履修科目の設置・履修学年（年次）

- 「地理総合」などの必履修科目的単位数
- 「地理探究」などの選択科目的設置・履修学年（年次）
- 「地理探究」などの選択科目的単位数
- その他（記述）

5. 見直しの主な理由は何ですか？※複数回答可

- 生徒の進路希望への対応
- 二つの総合科目や「公共」の学びの順序の適切化
- 科目担当者の異動など人員の変化への対応
- 施設や設備の変化への対応
- その他：

II. これまでの「地理総合」の担当者と使用教科書など

1. 所属校（学科・コース）では、回答者ご自身を含め、これまで「地理総合」はどのような方が担当していましたか？（複数回答可）

- 主に地理を専門とする若手（教職経験10年未満）の教員
- 主に地理を専門とする中堅以上（教職経験10年以上）の教員
- 主に歴史や公民を専門とする若手（教職経験10年未満）の教員
- 主に歴史や公民を専門とする中堅以上（教職経験10年以上）の教員
- 専門に関わりなく、クラス担任など履修学年（年次）担当の教員
- その他：

2. 「地理総合」は、主にどのように担当しています／担当していましたか？

- 回答者1人が担当
- 複数の教員が担当し、授業進度・内容や定期試験問題などはそれぞれで対応
- 複数の教員が担当し、授業進度・内容や定期試験問題などは一律で対応
- その他（記述）

3. 回答者が授業で使用している／使用していた教科書は、次のいずれですか？

- 701 東京書籍『地理総合』
- 702 実教出版『地理総合』
- 703 帝国書院『高等学校 新地理総合』
- 707 帝国書院『高校生の地理総合』

- 704 二宮書店『地理総合 世界に学び地域へつなぐ』
- 705 二宮書店『わたしたちの地理総合 世界から日本へ』
- 706 第一学習社『高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる』

4. 主な採択理由は何ですか？（複数回答可）

- 学習指導要領の趣旨をよく反映した内容や構成になっているから
- 生徒の興味・関心を高める内容や構成になっているから
- （地理教員以外を含む）教員が教えやすい内容や構成になっているから
- 中学校教科書との連携を考えた内容や構成になっているから
- 従前の指導内容や指導方法を大きく変えずに授業ができそうな内容や構成になっているから
- 大学等の入試に対応した内容や構成になっているから
- 指導書や副教材、ホームページなど教科書出版社のサポートが充実しているから
- 採択に関与していないので、理由は分からない
- その他：（

III. 地理総合」授業の状況や課題など

これまでに指導されてきた「地理総合」授業の状況と現在の課題などについて、学習指導要領の中項目ごとにお尋ねします。

1. 内容 A (1) 「地図や地理情報システムと現代世界」の授業

1-1. 「地図や地理情報システムと現代世界」の授業は、どのような形の活動が主になっていますか／いましたか？最も多い形の授業を1つ選んでください。

○教員が、地図や GIS と現代社会について、教科書の記述をもとに講義する活動が主になる授業

○教員が、地図や GIS と現代社会について、ICT 機器などを使って示範する活動が主になる授業

○生徒が、地図や GIS と現代社会について、ICT 機器などを使って作業したり、課題を追究してその過程や結果を発表したりする活動が主になる授業

1-2. 「地図や地理情報システムと現代世界」の内容について、どのように感じていますか／感じましたか？

○教員にとっては指導しやすく、生徒にとっては学習しやすい内容

○教員にとっては指導しやすいが、生徒にとっては学習しにくい内容

○教員にとっては指導しにくいが、生徒にとっては学習しやすい内容

○教員にとっては指導しにくく、生徒にとっては学習しにくい内容

1-3. 「地図や地理情報システムと現代世界」を指導してみて、必要と感じている／感じた情報や研修などを、次のうちから2つまで（「その他」も含む）選んでください。

□地図やGISの基本的な知識とその入手先などに関する情報

□手軽に入手・操作できる地図やGISの種類とその入手先などに関する情報

□地図やGISの基本的な操作に関する実践的な研修

□地図やGISを使った教材作成に関する実践的な研修

□地図やGISの基本的な操作や教材作成に関するYouTubeなどネット上の研修動画

□所属校・生徒の状況に即した「主体的・対話的で深い学び」につながる実践例に関する情報

□この内容と所属校・生徒の状況に即した評価手段・方法などに関する情報

□この内容に関わる今後の大学等入試問題の動向に関する情報

□とくにこの内容に関する情報や研修の必要は感じない／感じなかった。

□その他：

1-4. 「地図や地理情報システムと現代世界」の内容や配当時間などについて今後どのようにしたらよいとお考えですか？

○より充実すべきである ○現行のままでよい ○削減すべきである ○分からない

2. 内容B(1) 「生活文化の多様性と国際理解」の授業

2-1. 「生活文化の多様性と国際理解」の授業は、どのような形の活動が主になっていますか／いましたか？最も多い形の授業を1つ選んでください。

○教員が、世界各地の生活文化について、教科書の記述をもとに講義する活動が主になる授業

○生徒が、教科書などに予め設定された課題／学習課題をもとに、世界各地の生活文化を調べて追究し、その過程や結果を発表する活動が主になる授業

○生徒が、世界各地の生活文化を調べ、国際理解の視点から課題を設定して追究し、その過程や結果を発表する活動が主になる授業

2-2. 「生活文化の多様性と国際理解」の内容についてどのように感じていますか／感じましたか？

○教員にとっては指導しやすく、生徒にとっては学習しやすい内容

○教員にとっては指導しやすいが、生徒にとっては学習しにくい内容

○教員にとっては指導しにくいが、生徒にとっては学習しやすい内容

○教員にとっては指導しにくく、生徒にとっては学習しにくい内容

2-3. 「生活文化の多様性と国際理解」を指導してみて、必要と感じている／感じた情報などを、次のうちから2つまで（「その他」も含む）選んでください。

□中学校で世界や日本の地誌について学ぶ学習の内容とその知識の定着度に関する情報

□世界の生活文化についての様々な知識とその入手先などに関する情報

□教材作成に利用できる画像や動画、統計資料とその入手先などに関する情報

□所属校・生徒の状況に即した「主体的・対話的で深い学び」につながる実践例に関する情報

□この内容と所属校・生徒の状況に即した評価手段・方法などに関する情報

□この内容に関わる今後の大学等入試問題の動向などに関する情報

□とくにこの内容に関する情報や研修の必要は感じない／感じなかった。

□その他：

2-4. 「生活文化の多様性と国際理解」の内容や配当時間などについて今後どのようにしたらよいとお考えですか？

○より充実すべきである ○現行のままでよい ○削減すべきである ○分からない

3. 内容 B (2) 「地球的課題と国際協力」の授業

3-1. 「地球的課題と国際協力」の授業は、どのような形の活動が主になっていますか／いましたか？最も多い形の授業を1つ選んでください。

○教員が、地球的課題と国際協力について教科書の記述をもとに講義する活動が主になる授業

○生徒が、教科書などに予め設定された課題／学習課題について、地球的課題と国際協力の現状を調べて追究し、その過程や結果を発表する活動が主になる授業

○生徒が、地球的課題を調べ、国際協力の視点から課題を設定して追究し、その過程や結果を発表する活動が主になる授業

3-2. 「地球的課題と国際協力」の内容についてどのように感じていますか／感じましたか？

○教員にとっては指導しやすく、生徒にとっては学習しやすい内容

○教員にとっては指導しやすいが、生徒にとっては学習しにくい内容

○教員にとっては指導しにくいが、生徒にとっては学習しやすい内容

○教員にとっては指導しにくく、生徒にとっては学習しにくい内容

3-3. 「地球的課題と国際協力」を指導してみて、必要と感じている／感じた情報などを、次のうちから2つまで（「その他」も含む）選んでください。

□中学校で地球的課題について学ぶ学習の内容とその知識の定着度に関する情報

□地球的課題やその解決のための国際協力に関わる最近の動向とその入手先などに関する情報

□教材作成に利用できる画像や動画、統計資料とその入手先などに関する情報

□所属校・生徒に状況に即した「主体的・対話的で深い学び」につながる実践例に関する情報

□この内容と所属校・生徒に状況に即した評価手段・方法などに関する情報

□この内容に関わる今後の大学等入試問題の動向などに関する情報

□とくにこの内容に関する情報の必要は感じない／感じなかった。

□その他：

3-4. 「地球的課題と国際協力」の内容や配当時間などについて今後どのようにしたらよいとお考えですか？

○より充実すべきである ○現行のままでよい ○削減すべきである ○分からない

4. 内容C (1) 「自然環境と防災」の授業

4-1. 「自然環境と防災」の授業は、どのような形の活動が主になっていますか／いましたか？最も多い形の授業を1つ選んでください。

○教員が、自然環境と防災について教科書の記述をもとに講義する活動が主になる授業

○生徒が、教科書などに予め設定された課題／学習課題について、世界や日本の自然災害や防災対策を調べて追究し、その過程や結果を発表する活動が主になる授業

○生徒が、世界や日本の自然災害を調べ、防災の視点から課題を設定して追究し、その過程や結果を発表する活動が主になる授業

4-2. 「自然環境と防災」の内容についてどのように感じていますか／感じましたか？

○教員にとっては指導しやすく、生徒にとっては学習しやすい内容

○教員にとっては指導しやすいが、生徒にとっては学習しにくい内容

○教員にとっては指導しにくいが、生徒にとっては学習しやすい内容

○教員にとっては指導しにくく、生徒にとっては学習しにくい内容

4-3. 「自然環境と防災」を指導してみて、必要と感じている／感じた情報や研修などを、次のうちから2つまで（「その他」も含む）選んでください。

- 中学校で自然環境や自然災害について学ぶ学習の内容とその知識の定着度に関する情報
- 自然環境や自然災害の基本的な知識とその入手先などに関する情報
- 教材作成に利用できる画像や動画とその入手先などに関する情報
- 地域の事例を使った自然災害や防災対策の教材作成に関する実践的な研修
- 所属校・生徒の状況に即した「主体的・対話的で深い学び」につながる実践例に関する情報
- この内容と所属校・生徒の状況に即した評価手段・方法などに関する情報
- この内容に関わる今後の大学等入試問題の動向などに関する情報
- とくにこの内容に関連する情報や研修の必要は感じない／感じなかった。
- その他：
4-4. 「自然環境と防災」の内容や配当時間などについて今後どのようにしたらよいとお考えですか？
○より充実すべきである ○現行のままでよい ○削減すべきである ○分からない

5. 内容 C (2) 「生活圏の調査と地域の展望」の授業

- 5-1. 「生活圏の調査と地域の展望」の授業は、どのような形の活動が主になっていますか／いましたか？最も多い形の授業を1つ選んでください。
○教員が、地域調査の内容や方法について教科書の記述をもとに講義する活動が主になる授業
○生徒が、文献調査やインターネットから得られる統計資料を使って地域の様子を調べ、その過程や結果を発表する活動が主になる授業
○生徒が、予め設定された地域の課題について、文献調査やフィールドワークを行って追究し、その過程や結果を発表する活動が主になる授業
○生徒が、持続可能な地域づくりの視点から地域の課題を設定し、文献調査やフィールドワークを行って追究し、その過程や結果を発表する活動が主になる授業
- 5-2. 「生活圏の調査と地域の展望」の内容をどのように感じていますか／感じましたか？
○教員にとっては指導しやすく、生徒にとっては学習しやすい内容
○教員にとっては指導しやすいが、生徒にとっては学習しにくい内容
○教員にとっては指導しにくいが、生徒にとっては学習しやすい内容
○教員にとっては指導しにくく、生徒にとっては学習しにくい内容
- 5-3. 「生活圏の調査と地域の展望」を指導してみて、必要と感じている／感じた情報や研修などを、次のうちから2つまで（「その他」も含む）選んでください。

- 中学校で地域調査について学ぶ学習の内容とその知識・技能の定着度に関する情報
 - 地域調査の内容や方法に関する実践的な研修
 - 教材作成に利用できる地域の統計資料などとその入手先に関する情報
 - 所属校・生徒の状況に即したフィールドワークや授業の実践例に関する情報
 - この内容と所属校・生徒の状況に即した評価手段・方法などに関する情報
 - この内容に関わる今後の大学等入試問題の動向などに関する情報
 - とくにこの内容に関連する情報や研修の必要は感じない／感じなかった。
 - その他：

5-4. 「生活圏の調査と地域の展望」の内容や配当時間などについて今後どのようにしたらよいとお考えですか？

- より充実すべきである ○現行のままでよい ○削減すべきである ○分からない

6. 「地理総合」の年間指導計画の中で、各項目の配当時間の全体に対する割合はどうなっていますか？

※合計を 100%にしてください。年間の指導時間が 60 時間とすると、6 時間が全体の 10%になります。

10%未満 20%程度 30%程度 40%程度 50%程度 60%以上

「地図や地理情報

システムと現代世界」

内容 B (1)

「生活文化」

「國際理解」

内容 B (2)

「地球的課題と

「國際協力」

内容 C (1)

「自然環境」

内容 C (2)

「生活圈」の語

地域の展望」

IV. 「地理総合」全般

「地理総合」全般の課題やその解決に向けた取組などについてお尋ねします。

1. 「地理総合」全般について、課題と感じている／感じたことがありますか？次のうちから2つまで（「その他」も含む）選んでください。

- 指導内容に関する知識・技能などを持つ教員の確保
- GIS や地域調査などの作業的、体験的学習に必要な授業時間の確保
- 生徒間における中学校社会科の知識・技能の定着度や PC などの操作スキルの違い
- 授業づくりについて相談できる同僚や専門家などの相談相手
- GIS などの指導に必要な機材や設備の整備
- “思考・判断・表現”や“主体的に学習に取り組む態度”の観点を評価するための内容や方法
- 「地理総合」の指導内容と「地理探究」の指導内容との関わり／関連性
- 「地理総合」の指導内容と大学等の入試問題との関わり
- その他：

2. 「地理総合」の指導関わって、教育委員会や学会、民間教育団体等の研修会に参加した経験はありますか？

- ある ない

※上記の設問で、参加した経験が「ある」と回答した方 にお尋ねします。

2-1. 研修会はどのような内容でしたか？（複数回答可）

- 主に「地理総合」全般の解説
- 主に授業実践例の解説
- 主に指導に必要な専門的知識や技能の習得
- 主に観点別評価の内容や方法の解説
- 主に大学入試などとの関わりを解説
- その他：

3. 今後「地理総合」の内容構成や単位数をどうしたらよいとお考えですか？

- 内容構成を見直し、単位数を増やすべき

- 内容構成は現行のままで、単位数を増やすべき
- 内容構成を見直すが、単位数は現行のままでよい
- 内容構成、単位数とも現行のままでよい
- 分からぬ
- その他（記述）

V. その他、本アンケートの趣旨に関連する情報や、日本地理学会等へのご意見・ご要望をお持ちでしたら、以下にお書きください。

ご協力ありがとうございました。アンケート結果は、まとまり次第、日本地理学会地理教育専門委員会HPなどを通じて公開する予定です。

[参考資料]

現在、日本地理学会地理教育専門委員会や地理教育フォーラムなどでは、「地理総合」の指導を支援するために、次のような取組を行っています。

★研修会や講演などへの講師派遣 [地理教育専門委員会]

URL : <https://www2.dokkyo.ac.jp/rese0018/>

★研修会、講習会の開催案内や指導に役立つコンテンツの紹介などがされているサイトの運営
[地理教育フォーラム]

URL : <https://experience.arcgis.com/experience/cff55a4407ac497985006f6b1da474c5/>

★教材研究や教材作成のための研究者による参考資料（教材資料集）の提供 [地理総合教材素材集]

URL : <https://www.chirisougou.geography-education.jp/>

★高校教員による授業実践例の紹介や学習内容に関する専門家の解説などから構成される地理総合オンラインセミナーの実施 [地理教育フォーラム] （※日程、内容は地理教育フォーラムのサイトでお知らせしています。）

また、地理教育専門委員会が「地理総合」実施直前に実施した授業イメージや教育課程などに関する調査結果も上記の地理教育専門委員会HPに掲載されています。